

令和6年度
体験型・周遊滞在型コンテンツ開発支援補助金

公 募 要 領

令和6年5月
公益社団法人ひょうご観光本部

令和6年度体験型・周遊滞在型コンテンツ開発支援補助金 公募要領

1 事業目的

県内各地の観光事業者等が、地域資源を体験型・周遊滞在型コンテンツに育て、磨き上げる取組に対し支援を行うことにより、県内へのさらなる誘客促進を図るとともに、持続可能で適切な経済が域内をめぐり住民が「幸せ」に暮らし続けられる地域の実現を目指す。

2 対象事業者

下記(1)から(4)のいずれかを満たす観光事業者等であり、「対象事業者の要件」を充足するもの

- (1) 公益社団法人ひょうご観光本部（以下「観光本部」という。）が令和2～5年度に実施した「Re-DISCOVER HYOGO 兵庫の魅力再発見コンテンツ造成事業」（以下、「コンテンツ造成事業」という。）において採択されたコンテンツの実施事業者
- (2) 観光本部が令和6年度に新たに実施している【地域資源を活用した「兵庫テロワール旅」コンテンツ造成事業】において、採択されたコンテンツの実施事業者
- (3) 観光本部が令和4～5年度に実施している「ガイド育成を核とした地域探訪型サイクルツーリズム推進事業」において早期収益化を目指す事業者に選定された事業者で、各地域でガイド付きサイクリングコンテンツを造成する事業者（レンタサイクル事業はコンテンツに該当しない）
- (4) その他、観光本部理事長が特に必要と認める者

【対象事業者の要件】

- (1) 地方公共団体ではないこと
- (2) 政治的・宗教的活動を目的とした団体ではないこと
- (3) 補助事業を的確に遂行する能力を有すること
- (4) 補助事業を遂行するのに必要な自己資金の調達が可能であること
- (5) 経理その他の事務についての的確な管理体制と処理能力を有すること

3 対象となる事業

対象事業者等が令和6年5月から令和7年2月末までに実施・完了する体験型・周遊滞在型コンテンツの開発に必要となる事業であり、「対象事業の要件」を充足するもの

※ 原則として、対象事業者等における新たな取組を対象とするが、既存事業であっても、新たな要素を取り入れるなど拡充を図る部分については、補助対象とする。
ただし、昨年度補助を受けた経費と同じ経費補助は対象外とする。

（例 昨年度通訳機購入。今年度通訳機を買い増し 等）

なお、申請にあたっては、全体事業を示すとともに、拡充部分の事業内容及び経費を明確にすること

【事業例】

区 分	事業内容（例）
体験型コンテンツ魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、パンフレットの制作 ※体験コンテンツの概要を紹介したものに限る ※施設案内等、一般的な情報を記載したものは対象外 ・プロモーション動画の作成 ・VR/AR やスマホアプリ等 IT 技術の活用 ・コンテンツの磨き上げに必要なモニターツアー ・コンテンツ開発アドバイザー等によるコンサルティング ・コンテンツに係るガイド研修
インバウンド対応	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語パンフレット、多言語 Web サイトの制作 ・通訳機器（タブレット端末含む）の導入 ・インバウンド向けノベルティ/お土産品の開発 ・インバウンドガイド育成研修の実施 ・ハラル、ベジタリアン対応など訪日外国人おもてなし研修の実施
受入環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・無料 Wi-Fi アクセスポイントの設置 ・QR コード決済等のキャッシュレス決済への対応
サイクルツーリズム促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲスト貸出用 E-Bike の購入、整備 ・ヘルメット等レンタル機材の整備 ・サイクルラック等受入環境整備 ・サイクリングガイド育成研修の実施 <p>※ただし、「2 対象事業者（4）」に限る</p>

【対象事業の要件】

- (1) 対象事業者が今年度実施する新たな取組であること ※
- (2) 兵庫県および県外郭団体（観光本部を含む）から他の補助金を得ていないこと
- (3) 政治的・宗教的活動を目的としたものではないこと
- (4) 暴力行為、迷惑行為のおそれのないこと

4 支援内容

- (1) 補助率 補助対象経費の 1 / 2 以内（千円未満切捨）
※ただし、「2 対象事業者の（1）と（2）」に重複する事業者は補助率 2 / 3 以内（千円未満切捨）
- (2) 補助額 1 補助事業者あたり上限 500 千円
※ただし、「2 対象事業者の（1）と（2）」に重複する事業者は上限 1,000 千円
- (3) 補助対象経費

科 目	項 目	内 容
事業費	謝金、旅費、賃借料・使用料、会場借上料、会場設営・撤去費、広報宣伝費、印刷製本費、通信運搬費、雑務費、原材料費、備品購入費、消耗品費	本事業を遂行するために必要な経費

委託費	事業に必要な業務を委託する経費	本事業を遂行するために必要な経費
その他の経費	その他、理事長が認める経費	

※ 消費税納税義務者で、当該補助金に係る仕入れに係る消費税等相当額がある場合は、これを補助対象外経費として申請すること。

※ 当該事業によって収入が生じる場合、その収入額を補助対象経費から控除する。

※ 備品については、原則、使用耐用期間が1年以上のものとする。

※ 当該事業の実施により取得または効用の増加した備品等については、原価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）による期間中は処分できないものとする。また、対象となる財産にかかる台帳を備え、その処分制限期間の間、保存しておかなければならない。

※ 広報物等を制作する際は、当該広報物等に、公益社団法人ひょうご観光本部「体験型・周遊滞在型コンテンツ開発支援事業」の助成を受けている旨を記載すること。

【補助対象とならない経費】

- (1) 会議等での弁当代、茶菓、イベント時の出演者賄いなど食糧費
- (2) 光熱水費、通信費、システム管理運営費
- (3) 不動産の取得費
- (4) PC・プリンターなど汎用性の高い備品や、商品券など換金性の高いものの購入費
- (5) その他、各種コンテンツの開発及び磨き上げに直接関わりのない経費

5 交付決定

観光本部において、提出書類等をもとに、「期待される地域への効果」、「事業の持続可能性」等を審査の上、予算の範囲内において交付決定を行う。

6 実績報告及び補助金の支払い

補助事業が完了した日から30日以内または令和7年3月10日のいずれか早い日までに実績報告書及び証拠書類（領収書(写)等）を提出すること。原則として提出された実績報告書類と請求書にもとづき、精算払いにより補助金の支払いを行う。

なお、後日、補助対象物件や実績報告書類（証拠書類含む）などについて、実地検査を行う場合がある。

【実績報告書に含むべき内容】

- (1) 補助事業実績報告書（様式第10号）
- (2) 補助事業報告書（別紙5）
- (3) 補助事業収支決算書（別紙6）
- (4) 事業の実施を証明する写真等
- (5) 制作物（ITに関わるものについては、全てのデータをDVD・USBメモリー等により提出するとともに、概要がわかるものを印刷すること）
- (6) コンサルティング及び研修については、その詳細内容がわかるもの
- (7) 支払証拠書類（委託請求書及び領収書、振込控など）

7 認定の取り消し及び補助金の返還

次に掲げる事項に該当する場合は、認定の取り消し及び既に交付した補助金の一部又

は全部の返還を求めることがある。この場合、返還金に対する加算金の納付、また、返還金の納付が遅れた際は、遅延利息金の納付が必要である。

- (1) 提出期限など観光本部が定める補助金交付要綱の規定に違反したとき
- (2) 補助金を補助事業以外の用途に使用したとき
- (3) 補助金交付決定の内容及びこれに付した条件に違反したとき
- (4) 偽りその他不正な手段により補助金の交付を受けたとき

8 補助事業者の義務

補助金の交付決定を受けた場合は、補助事業に係る収入及び支出の状況を明らかにした帳簿を備え、かつ、収入及び支出について証拠書類を整理し、補助事業が完了した年度の翌年度から5年間保存しなければならない。

9 応募手続き

(1) 申請書の提出先

公益社団法人ひょうご観光本部 企画開発課 本條・三村
住 所：〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県庁 1号館 7階
TEL：078-361-7661 FAX：078-362-7662 E-mail：honjyo@hyogo-tourism.jp

(2) 提出書類

- ・補助金交付申請書（様式第1号）
- ・誓約書（様式第1号の2）
- ・補助事業計画書（別紙1）
- ・補助事業収支予算書（別紙2）
- ・見積書等（写）
- ・団体概要書
- ・会則、定款、役員名簿など団体概要書の内容を証明する書類
※コンテンツ造成事業において、既に提出している場合は省略可
- ・その他必要に応じて提出をお願いするもの

(3) 提出方法

持参または郵送、メールのいずれかにより提出

(4) 募集期間

令和6年5月13日（月）～令和7年1月31日（金）必着

※募集期間中であっても補助額が予算額に達した時点で受付を終了します。

(5) 申請書の配布場所

（公社）ひょうご観光本部のホームページに掲載。

<https://www.hyogo-tourism.jp/subsidy/>

(6) 事業の流れ

